

第281号
平成26年

3月23日

すまいるたん



発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

手彫り印鑑を提供 文字と共生

日展作家 弘文堂印店

「口コミでお客様が増えています」
弘文堂印店は、昭和35年から54年の歴史を持つ手彫り印章の専門店です。

店主の阿部弘さん（昭和10年生）は、群馬県出身。書で身を立てようと上京し、書家の鬼頭墨甫氏に師事して楷書・行書・草書を学びました。開店後も「篆書をやらないと一人前にならない」と日展会友の赤井清美氏に師事して篆刻で日展に



平成2年から3回入選しております。

篆刻の字体は秦の始皇帝時代の小篆です。豊半豊位の紙に字を書きます。形が決まると、徐々に小さな紙に書き直しを繰り返します。紙をひつ

くり返して逆字にして実寸にします。

印章を作成するには、大きく①字入れ
・②荒彫り・③仕上げの3工程を経て作られます。この工程を全て手仕事で行うか、機械を使用するかによって「手彫り」「機械彫り」に分かれます。

弘文堂印店は、字入れ・粗彫り・仕上げの全工程を完全手仕事で行う手彫りで

す。

「篆書です」

阿部さんの刻印を作るに当たっての心構えは「うそ字を書かないこと」です。20Cm位の厚さのある行草辞典で調べてから朝5時から10時の午前中に集中力を費やして作っています。

印章は歴史が古く、中国から日本に伝わり、国宝の漢委奴国王印が有名です。大化の改新後、印章は使用されるようになりなりました。

「日柄の良い日を選んで掘ります」

急ぎの場合は別ですが、大安など日柄の良い日に作成してくれます。

近年は手彫り印鑑のお店が少なくなりました。印鑑はなかなか自分では気を使わずに必要なに迫らせて慌てて買ってしまうものです。

印章は顔と同じです。その人の代理として意志をあらわすものです。手彫りの印章は、その人の深みが増すように見えるところがあります。

人生の節目・門出に印鑑は、重要不可欠です。出産・結婚のお祝い、成人のお祝いや就職のお祝いのプレゼントにぴったりの手彫り印鑑はいかがですか。

私もお嫁さんに1本作ってもらい、手



彫りの温かさにとっても喜んでおりました。

阿部さんは、水墨画やコース、盆栽と多岐に渡って活躍されております。書道団体「淡水会」の審査員を経て現在は心と和書展の審査員をされています。また、老人福祉センターや西部ひろば館で書道も教えていらつしやいます。

5月からはご自宅で書道教室も始められます。

店内に大小の筆が沢山あり、日々精進して邁進されている阿部さんです。ぜひ一度、職人技の印鑑に会いに足を運び下さい。

弘文堂印店

印章・印刷・賞状・書物書家・画家用篆刻

TEL&FAX (3807) 4854

南千住5-4-7 (みずほ銀行三ノ輪支店前)

定休日：水・土・日・祝日

営業時間：AM9時～PM6時